

テロ及び暴力的過激主義との闘いに関する G7 タオルミーナ声明 (骨子)

- マンチェスターにおけるテロの犠牲者の家族に哀悼の意を表する。テロを最も強い言葉で非難する。テロとの闘いは主要な優先事項であり、これをより高いレベルに引き上げる。このため伊勢志摩で採択された G7 行動計画の完全な実施に引き続きコミットする。我々は、閣僚が可能な限り早期に会合するよう指示する。
- 第一に、テロリストによるインターネットの悪用と闘う。通信サービス・プロバイダやソーシャル・メディア企業に取組を呼びかける。テロのプロパガンダに対抗するため、市民社会等との連携を強化する。
- 第二に、外国人戦闘員によるリスクを管理する共同のアプローチを追求し、通過国及び目的国の能力構築、Da'esh/アル・カーイダ支配地域に渡航したことがある個人に関する情報の共有等にコミットする。
- 第三に、テロ及び暴力的過激主義の資金調達への対処に改めて取り組み、金融活動作業部会(FATF)の作業を支持し、テロリストに身代金を支払わないことを改めて決意する。
- 旅行者の審査における乗客予約記録(PNR)及び事前旅客情報(API)の利用の拡大を支援する。
- テロリストの支援、テロリストの手への武器の流れ、暴力につながる過激化等の対策やテロと国境を越えた組織犯罪との結び付きの解体等において引き続き主要な役割を果たす。テロ対策のための世界的な行動に不可欠な要素として、関連する国連安保理決議や国際組織犯罪防止条約を含む国際文書を実施するため、協力を強化する。
- インターポールの情報共有機能を支持する。
- テロと闘うための手段としての、文化の特有の役割を確信し、文化遺産を保護し文化財の略奪や違法取引に対抗する。
- 効果的、効率的かつ焦点を絞った能力構築及び技術援助プログラムの実施に向け、国際的・地域的な機関等の運営にコミットする。
- 治安、社会的包摂及び開発を結合した包括的アプローチによりテロ及び暴力的過激主義を助長し得る社会的及び経済的な包摂性及び機会の欠如に対処することにコミットする。
- テロ対策の取組が民主主義、人権の尊重及び法の支配という共通原則に基づかなければならないことを強調する。